

病害虫情報発刊のごあいさつ

横浜植物防疫所

所長 森 武雄

大変残念なことです。最近是新病害虫の時代といってよいほど新しい病害虫が各地で話題になっています。北海道のジャガイモシストセンチュウ、東海・近畿のイネミズゾウムシ、九州のミバエ等々です。

こうした新病害虫は、その発生地だけでなく全国の関係者が大きな関心を持って見まもっていますが、それにしても情報が十分でなく、かねがね、植物防疫所が何か役割りを果たすべきでないかと考えていました。

このたび、本省のご意向もあり、病害虫情報を発行することとなり、ここに第1号をお届けする運びとなりました。

問題の病害虫に関するニュースを、できるだけ早く、正確に、そしてあまり専門的にならぬよう

解説し、防除の第一線で活躍しておられる方々に提供するよう心掛けたいと思います。この情報が新病害虫の早期発見、防除指導にいささかでも役立てば望外の喜びです。

植物防疫所は以前、国有防除機具の貸付けや各種防除関係の会合を通じて、国内の防除関係機関と密接なつながりがありました。このところ輸入植物の検疫対応が予想をこえる繁忙さのため、心ならずもやや疎遠な状態にありましたが、この情報発行を機に往時の連けいを取りもどしたいと考えています。

最後に、情報は一方通行では成り立たないものです。皆さまからも情報や意見をお寄せいただき、より良い病害虫情報を共に育てていただくようお願いし、発刊のごあいさつといたします。

病害虫情報の創刊に寄せて

農林水産省 農蚕園芸局

植物防疫課長 栗田 年代

近年、イネミズゾウムシ、オンシツコナジラミなど新病害虫の発生にからんで海外から侵入する病害虫に対する関心が高まっています。又、国際化時代の進展に伴い、輸入植物の著しい量的増大、種類の多様化、旅行者の急増等により、海外から病害虫が侵入するチャンスが増大する可能性が強く、これに対応した植物検疫の展開が必要とされています。

いうまでもなく、植物検疫の目的は、我が国の農業生産の安全と助長を図ることであり、こうした情勢に対処して、輸入検疫では、既に、我が国未発生の病害虫で我が国へ侵入した場合、重大な被害を与える病害虫を選定し重点的な検疫を強化しつつあります。

一方、国内検疫の面においても、輸入検疫と相呼応して、これら病害虫の万一の侵入、まん延等に対処するための調査、防除技術の検討のほか、緊急な事態に対応する防除体制の整備が国内の病害虫防除との関連も含めて緊急の課題となっています。すなわち、検疫と国内の病害虫対策を一体的に考えて、総合的対策を検討することが重要と思います。この対策の実施は、植物防疫所の重要な業務ですが、国の研究機関、都道府県、関係団体等の協力がなければ的確、かつ円滑な推進が不可能であるといっても過言ではありません。しかし、従来、植物防疫所の業務は、港湾等を中心に展開されてきたこともあって、これら関係機関との連けいが必ずしも十分といえないうらみがあり

ました。今後、植物検疫の所期の目的を達成するため、これら関係機関の理解と協力をいただき、病虫害防除に万全を期して参りたいと思っております。このような状況下で今般、横浜植物防疫所が、国の内外の病虫害に関する情報を提供するこ

ととなりましたが、この情報発刊の趣旨を理解され利用していただければ幸に存じます。そして、この情報が植物防疫所と関係機関とを結ぶ太いきずなとなり、関係機関の協力をいただくことに役立つことを心から期待します。

侵入病虫害対策について

近年、わが国に輸入される農産物は、量、種類とも飛躍的に増大し、それに伴い海外から病虫害が侵入する危険性も大きくなっています。南北に細長く、多様な気象条件下にあるわが国は、病虫害の定着にとって甚だ好都合な条件をそなえており、ここ最近でもオンシツコナジラミ、イネミズソウムシなど重要病虫害が侵入しています。

このような新病虫害の侵入を防ぐため、国は全国約100か所の海空港に植物検疫の網をはりめぐらし、輸入される植物について厳重な検査を行い水際での防衛に努めています。

外国には、わが国未発生の病虫害が数多く存在しており、侵入の機会をねらっていますが、病虫害は新天地に侵入した場合、気候、風土、天敵、さらに既存種との競合等で被害発生の様相が異なり未侵入病虫害の検疫面での評価はきわめてむづかしい問題があります。最近の輸入検疫は、わが国に入った場合の被害を想定して病虫害を重要度によりいくつかにランク分けし、重要度の高いものをより重点的に検疫する措置をとっています。

こうした輸入検疫での懸命な対応があっても病虫害の侵入は予想されることであり、最近の情勢に照らして国内検疫の重要性が改めて再認識され植物防疫所では現在その整備に努力しています。

侵入病虫害に対する国内検疫としての対応は、大別すると早期発見体制の整備と侵入した場合の防除方法の検討であると考えます。

まず、早期発見体制ですが、諸外国の文献により早期発見に必要な生態、形態、病徴を明確にし、調査の参考となる資料の作成に努めています。これは、できるだけ早い機会に関係者に配布する

予定です。早期発見のための侵入警戒調査は、都道府県の関係機関と十分な連けいをはかり、協力、分担しなければならないと考えます。なお、植物防疫所では未侵入病虫害を主体に病虫害標本の集積に努めており、現在、害虫は、1,292種、病菌は、171種、1,076菌株を整備しています。侵入病虫害らしいものが発見された場合標本のあるものについては、比較的短時間で同定が可能です。

次に、事前の防除方法の検討ですが、これも諸外国の文献によって、比較的重要と考えられるものについて外国における防除方法、万一わが国に侵入した場合とるべき措置等について資料を整備し、発見した場合は早期に的確な防除が行えるよう準備を進めつつあります。

侵入病虫害の対策は以上のとおりですが、何等かの機会に新しい病虫害と思われるものを発見した場合は、最寄りの植物防疫所に通報下さるようお願いいたします。

都 道 府 県	担当植物防疫所	電 話
北海道	横浜植物防疫所札幌支所	011-852-1808
青森・岩手・宮城・福島	同 塩釜支所	02236-2-6916
秋田・山形・新潟	同 新潟支所	0252-44-4401
茨城・埼玉・東京・千葉	同 東京支所	03-471-4113
栃木・群馬・神奈川・山梨	同 国内課	045-211-2299
長野・愛知・岐阜・三重	名古屋植物防疫所国内課	052-651-0111
富山・石川・福井	同 伏木支所	0766-44-0990
静 岡	同 清水支所	0543-52-3775
滋賀・京都・兵庫	神戸植物防疫所国内課	078-331-2386
大阪・和歌山・奈良	同 大阪支所	06-571-0801
鳥取・島根・岡山・広島・山口	同 広島支所	0822-51-5881
香川・愛媛・徳島・高知	同 坂出支所	08774-6-4108
福 岡	門司植物防疫所国内課	093-321-2809
佐賀・長崎	同 福岡支所	092-291-2504
熊本・大分・宮崎・鹿児島	同 鹿児島支所	0992-22-1046
沖 縄	那覇植物防疫事務所国内課	0988-68-1679